



栗原市立志波姫小学校のジオパーク学習で

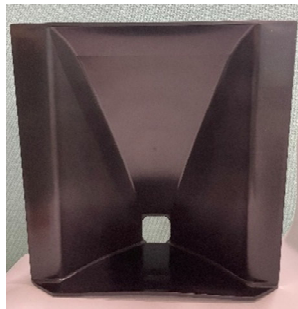
「田んぼダム出前講座」を行いました！



令和7年10月8日(水)に、栗原市立志波姫小学校にて、5年生の児童54名を対象にジオパーク学習の一環として「田んぼダム出前講座」を行いました。

「田んぼダム」とは、田んぼの排水口にロート型堰板を取り付けることで、田んぼに降った雨を一時的に溜め、ゆっくりと排水させる取り組みです。

がたせきいた ロート型堰板



前面

ゴミが詰まりにくい構造です！



側面

がたせきいた ロート型堰板を設置した場合



普段は通常の田んぼと変わらず、大雨の時だけダムのように機能することから、「普段は田んぼ、時々ダム」と言われています。講座では実際に使用されている、ロート型堰板などを使ってどのような仕組みなのかを説明しました。その後の田んぼダムに関するクイズでは児童たちは元気よく自信を持って手を上げて答えていました。

講座の最後には、田んぼダムの模型を使った実演を行いました。通常の田んぼでは、排水路の水位がすぐに上がり、下流で水があふれる可能性があるのに対し、田んぼダムを実施した田んぼ（ロート型堰板設置）では、上流の田んぼに水を溜めることで、排水路への水の流れがゆるやかになる様子を観察しました。



通常の田んぼ

田んぼダム
(ロート型堰板設置)

今回の出前講座を通じて、「田んぼダム」の取り組みについて、児童のみなさんの理解が深まったと感じています。

田んぼダムの仕組みについては、宮城県公式 YouTube チャンネルでも動画でわかりやすく紹介しています。下記 URL からぜひご覧ください。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=UwxhMoxNqX0>

出前講座の様子

